

(1) 事業者団体情報

(2) 都道府県・政令指定都市との連携（申請者が地域国際化協会及び地域国際化協会に準ずる法人又は団体の場合のみ記載）

1. 事業の名称	「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」 (府内市町村の識字・日本語学習活動への支援)
2. 事業の期間	令和3年4月1日～ 令和4年3月10日(12カ月間)

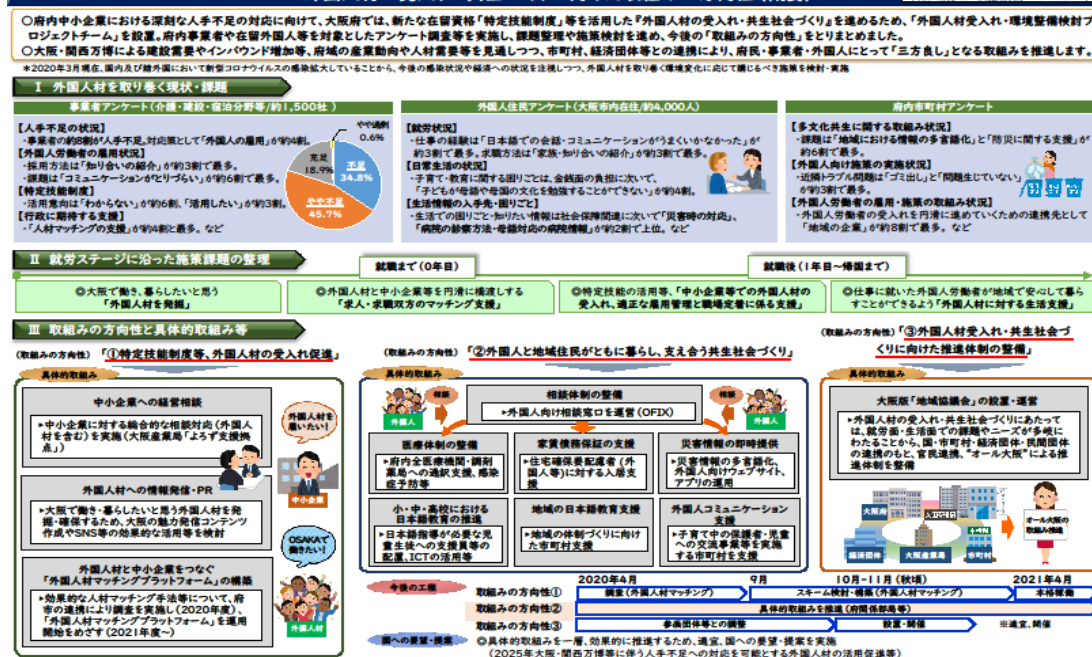
大阪府には、現在、約 25 万人の外国人が居住しており、過去 5 年間で約 5 万人増加している。

令和 2 (2020) 年末

全 国 2,066,445 人 $\Rightarrow$ 2,887,116 人

出典：法務省 在留外国人統計

外国人材の受入れ・共生づくりに向けた取組みの方向性（概要）



ウ) 地域における日本語教育の現状

地域の識字・日本語教室（約 200 教室）における学習者数及び学習支援者数（ボランティア）の推移
平成 25 年度と平成 29 年度の比較で学習者数の増加が 20%であるのに対し、学習支援者の増加は 10%
を下回る。

学習者数 平成 25 年度 4,358 人 ⇒ 平成 29 年度 5,232 人 約 20%増

学習支援者数 平成 25 年度 2,682 人 ⇒ 平成 29 年度 2,948 人 約 10%増

（「平成 29 年度大阪府識字・日本語教室活動状況調査」による）

（参考）同年度における大阪府の在留外国人数の増加

平成 25 年度 203,921 人 ⇒ 平成 29 年度 228,474 人 約 12%増

エ) 地域における日本語教育の課題

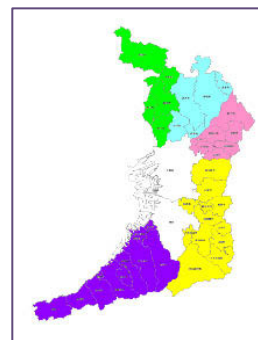
新しい在留資格の創設、「日本語教育の推進に関する法律」施行、「日本語教育の推進に関する施策を
総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」閣議決定、「外国人材の受け入れ・共生のための総
合的対応策」（令和 3 年改訂）等を踏まえ、大阪府における外国人材の受け入れ・共生のための地域日
本語教育を推進し、地域日本語教育の総合的な体制を構築するために、

課題① 市町村における事業予算の確保

課題② 府域の司令塔、市町村に核となる人材の配置

課題③ 市町村間・教室間の連携をより一層強化

課題①～③への対応が必要

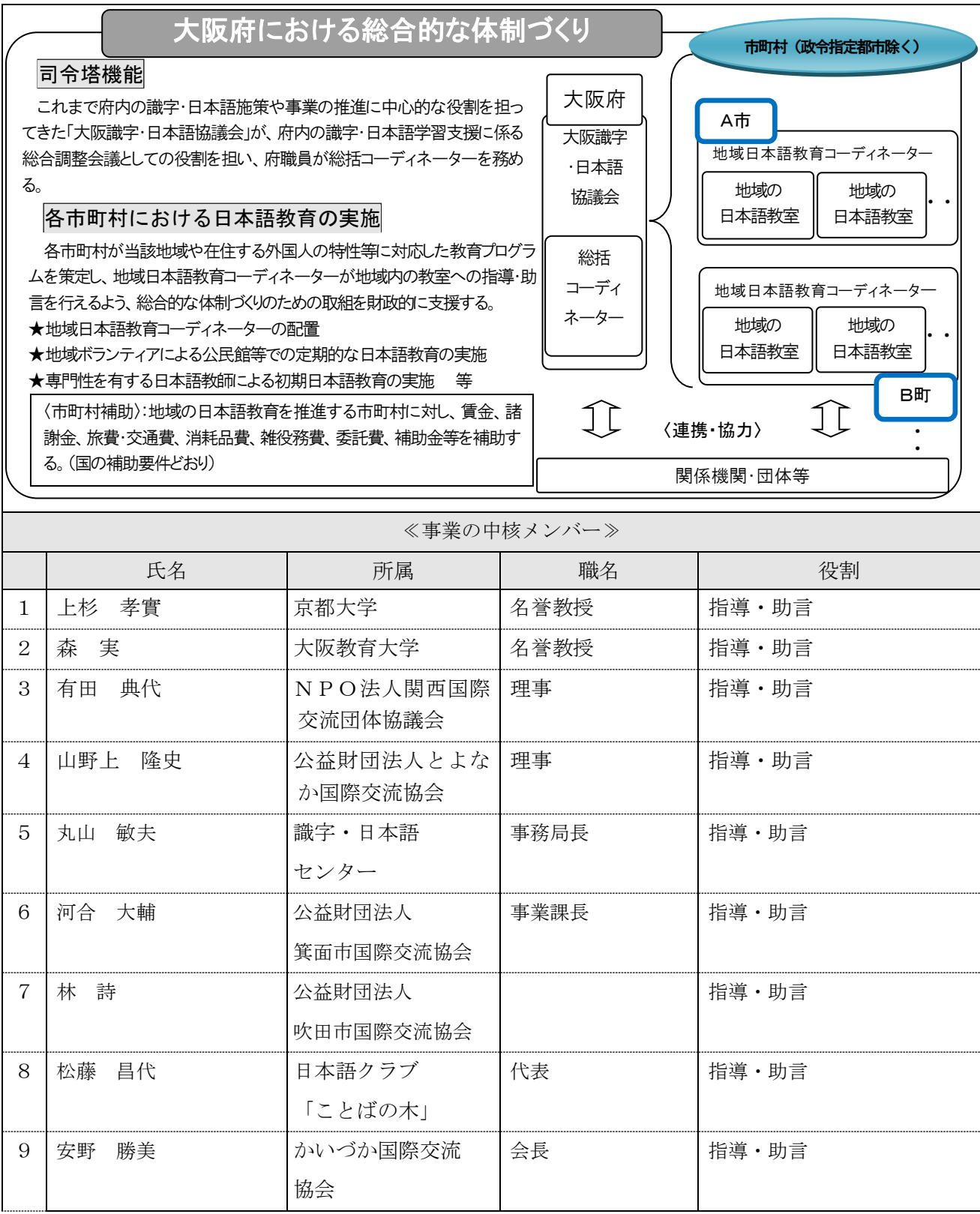


4. 目的

今後、在留外国人の更なる増加が見込まれる中、日本語能力が十分でない外国人等が生活に必要な日本語
能力を身に付けられるよう、市町村が関係機関等と連携し、識字・日本語学習環境を強化するための支援体
制づくりを行い、学習機会の確保を図る。

3 事業の実施体制

(1) 実施体制(図表等を活用して、総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターを含めて記載してください。)



(2) 域内の市区町村、関連団体等との連携・協力体制

府内市町村との連携・協力として、令和3年度は府内12市と連携して本事業を実施した。さらに、すべての府内市町村が連携・協力し、府域の地域日本語教育の総合的な体制づくりを推進するために、総括コーディネーターを中心として、府内の識字・日本語学習行政担当者が一堂に会する「市町村識字・日本語学習担当者連絡会議」を年2回実施した。この会議において、情報の交換・共有を行うとともに、同会議内で府内市町村を8ブロックに分けてブロック別会議やブロック教室見学会の検討を行うなど、府と市町村の識字・日本語学習行政担当者が連携・協力して市町村域を越えた取組をすすめた。市町村においては、地域日本語教育コーディネーターが担当域内の教室巡回を行い、効果的な日本語教育の実施や日本語教育人材養成のための講座実施などを域内で実施できるよう助言を行った。

関連団体との連携・協力として、大阪府内の識字・日本語施策や事業の推進に中心的役割を担ってきた「大阪識字・日本語協議会」から助言を受け事業を実施した。さらに、識字・日本語学習活動に長年取り組み、府内の識字・日本語学習活動に関するネットワークを有している大阪府識字・日本語学習コーディネーターと総括コーディネーターとの会議である「大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議」を年3回実施し、コーディネーター間の連携・協力を図りながら、日本語教育に係る情報の交換・共有をすすめた。

4 令和3年度の事業概要

1. 令和3年度の実施目標				
平成27年度に「大阪識字・日本語協議会」において整理した、識字・日本語学習活動促進に係る課題である「学習機会の不足」、「学習活動への支援」、「教室運営への支援」、「人材の育成」、「識字・日本語教室に対する情報の共有や周知・広報」、「連携・協力体制の構築」等の課題解決をめざし、府、市町村、民間のネットワークの拡大・強化により、大阪府内の識字・日本語学習活動の充実を図る。				
2. 実施内容				
【必須項目】				
(取組1) 総合調整会議の設置				
①構成員				
	氏名	所属	職名	役割
1	上杉 孝實	京都大学	名誉教授	指導・助言
2	森 実	大阪教育大学	名誉教授	指導・助言
3	高橋 定	識字・日本語連絡会	副代表幹事	指導・助言
4	柴原 浩嗣	大阪府人権協会	業務執行理事兼事務局長	指導・助言
5	丸山 敏夫	識字・日本語センター	事務局長	指導・助言
6	有田 典代	NPO法人関西国際交流団体協議会	理事	指導・助言
7	石橋 由紀子	NPO法人市民活動フォーラムみのお		指導・助言

8	染矢 美抄	大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課	課長	行政担当者
9	山本 茂雄	大阪府府民文化部都市魅力創造局 国際課	課長	行政担当者
10	井上 慎一	大阪府府民文化部人権局 人権擁護課	課長	行政担当者
11	大多 一史	大阪府教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習担当	課長	行政担当者
12	松尾 敏之	堺市市民人権局 人権部人権推進課	課長	行政担当者

②実施結果

実施回数	大阪識字・日本語協議会 2 回＋大阪識字・日本語協議会担当者連絡会 2 回
実施 スケジュール	6 月 大阪識字・日本語協議会担当者連絡会 7 月 大阪識字・日本語協議会 1 月 大阪識字・日本語協議会担当者連絡会 3 月 大阪識字・日本語協議会
主な検討項目	9 月・10 月 当年度 識字・日本語学習支援への取組実施状況について 1 月・3 月 次年度 識字・日本語学習支援への取組計画について

（取組 2－1）総括コーディネーターの配置

総括コーディネーター 1 内山 美智子
 所属 大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課 職名 首席指導主事
 総括コーディネーター 2 松村 平
 所属 大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課 職名 主任社会教育主事
 総括コーディネーター 3 宮崎 大亮
 所属 大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課 職名 社会教育主事補

（取組 2－2）地域日本語教育コーディネーターの配置にむけた取組

地域日本語教育コーディネーターの配置【(○)】 選択した取組に○を記入してください。

・地域日本語教育コーディネーター 1 黒島 トーマス友基
 担当地域 豊中市 所属 (公財) とよなか国際交流協会
 ・地域日本語教育コーディネーター 2 榎原 智子
 担当地域 池田市 所属 (特活) 北大阪ダイバーシティ
 ・地域日本語教育コーディネーター 3 河合 大輔
 担当地域 箕面市 所属 (公財) 箕面市国際交流協会
 ・地域日本語教育コーディネーター 4 渡辺 修治
 担当地域 吹田市 所属 吹田市市役所文化スポーツ推進室

・地域日本語教育コーディネーター 5 寺田 昌弘 担当地域 東大阪市 所属 東大阪市教育委員会社会教育課 ・地域日本語教育コーディネーター 6 長谷川 ユリ 担当地域 柏原市 所属 大阪教育大学 ・地域日本語教育コーディネーター 7 越智 一好 担当地域 松原市 所属 松原市役所市民協働課 ・地域日本語教育コーディネーター 8 西松 裕香 担当地域 松原市 所属 松原市役所市民協働課 ・地域日本語教育コーディネーター 9 玉光 聡子 担当地域 和泉市 所属 和泉市教育委員会生涯学習推進室 ・地域日本語教育コーディネーター10 北野 遼 担当地域 和泉市 所属 和泉市教育委員会生涯学習推進室 ・地域日本語教育コーディネーター11 安野 勝美 担当地域 貝塚市 所属 かいづか国際交流協会 ・地域日本語教育コーディネーター12 岩田 光弘 担当地域 貝塚市 所属 かいづか国際交流協会 ・地域日本語教育コーディネーター13 山下 泰之 担当地域 貝塚市 所属 かいづか国際交流協会 地域日本語教育コーディネーターの候補者の育成【()】
(取組 2 - 3) 調査・推進計画策定コーディネーターの配置
【重点項目】
(取組 3) 都道府県等の域内における日本語教育の実施に関する連携のための取組 ・市町村の識字・日本語学習担当行政職員を対象とする会議の開催 府内 43 市町村の識字・日本語学習担当行政職員を招集した会議（市町村識字・日本語学習担当者連絡会議）を年 2 回開催した。
(取組 4) 市区町村への意識啓発のための取組

(取組 5) 日本語教育人材に対する研修 (研修受講者数 (実人数): 人)			
【名称】 【目標】 【実施回数】 【受講者数】 【実施場所】			
(取組 6) 地域日本語教育の実施取り組んだものに○			
【 】 都道府県・政令指定都市が主催する地域日本語教育 【 】 日本語教育実施機関団体等への地域日本語教育			
実施箇所数		受講者数 (実人数)	
活動 1			
活動 2			
活動 3			
その他の取組 (取組 7 ～ 14 のうち、取り組んだものについて記載)			
【名称】 【実施箇所数】 【実施時間数】 計 時間 【具体的な実施内容】			

2-2. 市区町村の日本語教育の取組への支援
(取組15) 市区町村を支援して実施する日本語教育
【15-02 豊中市】 (日本語教育人材に対する研修) ①日本語ボランティアフォローアップ講座 兼 南部日本語・オンライン日本語講師登録講座 【講師】安田乙世(日本語教育支援グループ「ことのは」) 【実施場所】とよなか国際交流センター 【実施回数】3回 【受講者数】68人 【内容】日本語ボランティアとして活動に関わるうえで、必要な知識や考え方を身につけることを目的とした、新規ボランティア向けの講座を実施した。 ②多文化子育て支援ボランティア養成講座(「おやこでにほんご」ボランティアの養成) 【講師】山田拓路(NPO法人メタノイア代表理事)、神原文子(社会学者) 山本房代((公財)とよなか国際交流協会職員) 【実施場所】オンライン 【実施回数】3回 【受講者数】53人 【内容】現在の「生活者としての外国人」を取り巻く状況、おやこでにほんごボランティアに求められることなど、おやこでにほんごボランティア養成のための講座を実施した。 ③多文化子育て支援ボランティアフォローアップ講座 (「おやこでにほんご」ボランティアのフォローアップ講座) 【講師】神原文子(社会学者) 【実施場所】オンライン 【実施回数】1回 【受講者数】8人 【内容】現在活動されているボランティアの方を対象に、より学習支援のスキルを向上させる講座を実施した。 ④しょうないおやこでにほんごボランティア養成講座 (「おやこでにほんご」ボランティアの養成) 【講師】西恵味(J-オリエンテーション代表)、舩越麻澄(NPO法人港北国際交流協会) しょうないおやこでにほんご経験者(2人) 【実施場所】オンライン

【実施回数】 2回

【受講者数】 16人

【内容】ボランティアが特に不足している豊中市南部の庄内地域でのボランティア養成のため、現在の「生活者としての外国人」を取り巻く状況、おやこでにほんごボランティアに求められることなど、おやこでにほんごボランティア養成のための講座を実施した。

⑤新規日本語ボランティアフォローアップ研修

【講師】 松本テレサ・朴貞淑

【実施場所】 とよなか国際交流センター

【実施回数】 1回

【受講者数】 11人

【内容】新たに活動を開始したボランティアのためのフォローアップ研修を実施した。外国人当事者から日本語学習をする側の思いを聞き、それぞれができることを考えた。

(日本語教育の実施)

①南部にほんご教室

【目標】外国人が日本語を習得することによって、就労や生活に役立て、安心して地域で暮らすことを目的とする。

【実施回数】 対面 31回、オンライン 34回

【受講者数】 63人

【実施場所】 豊中市庄内公民館、とよなか国際交流センター、オンライン

【受講者募集方法】 市の広報誌やHP等で募集した

【内容】文化庁委託事業を活用し、大阪府教育庁が作成した入門期からの日本語学習教材「きいて まねして はなして」を用いて、対面とオンライン授業をそれぞれ実施した。また、個別の質問や自習の場を設けた。

【開始した月】 6月

【講師】 日本語教育アドバイザー 1人（日本語教師）、オンライン講師 6人、対面講師 5人

【機関名】 庄内公民館

【連携内容】 場所の提供および参加者への活動周知・広報など。

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

②もっとももっとつかえるにほんご

【目標】既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 40回

【受講者数】 27人

【実施場所】 とよなか国際交流センター

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアが自立的に運営している教室において、外国人と日本人が日本語で交流を図った。

【講師】なし（日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

③しょうない・おやこでにほんご（庄内図書館）

【目標】既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 8 回

【受講者数】 3 人

【実施場所】 庄内図書館

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本人親子のボランティアと外国人親子のボランティアが日本語で交流して、生活や子育てなどの情報交換や相談等を行った。

【講師】なし（日本人親子のボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

④おかまち・おやこでにほんご

【目標】既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 26 回

【受講者数】 7 人

【実施場所】 岡町図書館

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本人親子のボランティアと外国人親子のボランティアが日本語で交流して、生活や子育てなどの情報交換や相談等を行った。

【講師】なし（日本人親子のボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

⑤せんり・おやこでにほんご

【目標】既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 20 回

【受講者数】 6 人

【実施場所】 千里図書館

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本人親子のボランティアと外国人親子のボランティアが日本語で交流して、生活や子育てなどの情報交換や相談等を行った。

【講師】 なし（日本人親子のボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

⑥千里にほんご

【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 35 回

【受講者数】 15 人

【実施場所】 千里公民館・千里図書館

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアが自立的に運営している教室において、外国人と日本人が日本語で交流を図った。

【講師】 なし（日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

⑦とよなかにほんご・木ひる

【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 40 回

【受講者数】 41 人

【実施場所】 とよなか国際交流センター

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアが自立的に運営している教室において、外国人と日本人が日本語で交流を図った。

【講師】 なし（日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

⑧とよなかにほんご・金あさ

【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 41 回

【受講者数】 29 人

【実施場所】 とよなか国際交流センター

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】 日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアが自立的に運営している教室において、外国人と日本人が日本語で交流を図った。

【講師】 なし（日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

⑨にちようがちゃがちゃだん

【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数】 41 回

【受講者数】 19 人

【実施場所】 とよなか国際交流センター

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行うとともに HP 等で情報発信を行った。

【内容】 日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアが自立的に運営している教室において、外国人と日本人が日本語で交流を図った。

【講師】 なし（日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティア）

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

【15-03 池田市】

（日本語教育人材に対する研修）

①日本語ボランティア養成講座

【講師】 2 人

【実施場所】 池田市国際交流センター

【実施回数】 3 回

【受講者数】 27 人

【内容】 ボランティアの心構えや、テキスト活用法について

②にほんごサロンボランティア・スキルアップ講座

【講師】 1 人

【実施場所】 池田市国際交流センター

【実施回数】 1 回

【受講者数】 7 人

【内容】文化庁委託事業を活用して、大阪府教育庁が作成した日本語学習教材「話して 書いて 伝え合う
私のこと・あなたのこと」の活用法

③Zoom 日本語交流・活動のヒント 2021

【講師】1 人

【実施場所】池田市国際交流センター

【実施回数】1 回

【受講者数】5 人

【内容】Zoom を利用した日本語交流と活動のヒントについて

(日本語教育の実施)

①IMC にほんごサロン (オンライン)

【目標】日本に来て間もない外国人や長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会が無かった方が、地域で
日常生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】108 回 (1 回 1.5 時間)

【受講者数】29 人

【実施場所】オンライン

【受講者募集方法】市広報誌、センター F B ・情報誌

【内容】生活に役立つ会話を中心とした日本語をボランティアと共に学びながら交流した。オンラインで火
曜日、木曜日、土曜日の午前に開催した。

【開始した月】4 月

【講師】21 人

【関係機関との連携】無

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

②IMC 日本語教室 (オンライン)

【目標】外国人が、社会で安心して暮らせる程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】24 回 (1 回 1.5 時間)

【受講者数】6 人

【実施場所】オンライン

【受講者募集方法】市広報誌、センター F B ・情報誌

【内容】定住や永住を目的に暮らし、日常会話ができる外国人市民を対象に、より円滑なコミュニケーション
能力の向上をめざした。

【開始した月】4 月

【講師】1 人 (日本語教師)

【関係機関との連携】無

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：有

③子どもの日本語教室「TBY - To Be Yourself 外国にルーツを持つ子どもの居場所事業」

【目標】来日間もない、あるいは長く日本で生活しているが日本語の習得が不十分な子どもへ、ボランティアの協力により日本語学習支援の場所を提供することで、居場所づくりのサポートを行う。

【実施回数】19回（1回1.5時間）

【受講者数】7人

【実施場所】池田市国際交流センター

【受講者募集方法】市広報誌、センターF B・情報誌

【内容】子どもの状況に合わせた日本語学習を行った。

【開始した月】8月

【講師】4人

【関係機関との連携】無

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-04 箕面市】

（日本語教育人材に対する研修）

①講演&ワークショップ「あらためて考える『ともにいきる』～社会のあり方とわたしの立ち位置から～」

【講師】栗本敦子（Facilitator's LABO＜えふらぼ＞代表）

【実施場所】オンライン

【実施回数】1回（2時間）

【受講者数】33人

【実施日】令和3年5月15日

②講演「そもそも『ハーフって呼び方はどうなの？～多文化共生とレイシズムを考える～」

【講師】ケイン樹里安（社会学者都市文化研究センター研究員）

【実施場所】オンライン

【実施回数】1回（2時間）

【受講者数】42人

【実施日】令和3年5月29日

③講演&ワークショップ「多様性社会の作り方～身近な人にどう働きかける？！～」

【講師】北川知子（特定非営利活動法人とんだばやし国際交流協会理事長）

【実施場所】箕面市立多文化交流センター

【実施回数】1回（2時間）

【受講者数】 31 人

【実施日】 令和 3 年 10 月 9 日

④講演「身近なワクワクの作り方～自分の町はもっと楽しくなる！～」

【講師】 森本アリ（旧グッゲンハイム邸管理人音楽家）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター

【実施回数】 1 回（2 時間）

【受講者数】 43 人

【実施日】 令和 3 年 10 月 16 日

⑤講演&ワークショップ「にほんご交流活動から考える多文化共生」

【講師】 山野上隆史（公益財団法人とよなか国際交流協会事務局長）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター

【実施回数】 1 回（2 時間）

【受講者数】 19 人

【実施日】 令和 3 年 11 月 14 日

⑥講演&ワークショップ「地域日本語教室の役割 日本語学習を知る」

【講師】 磯見真澄（日本語教師、大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程）

【実施場所】 オンライン

【実施回数】 8 回（2 時間）

【受講者数】 延 90 人（12.5 人/回）

【実施日】 令和 3 年 4 月 11 日、5 月 9 日、6 月 13 日、8 月 8 日、9 月 12 日、10 月 10 日、12 月 12 日、
令和 4 年 1 月 9 日

⑦講演「外国人市民のための生活相談制度学習者視点から見た日本語教室」

【講師】 河合大輔、金美英、ツェレングワムンフバイスガラン（箕面市国際交流協会職員）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター、オンライン

【実施回数】 1 回（2 時間）

【受講者数】 17 人

【実施日】 令和 3 年 7 月 30 日

⑧対話「MAFGA と話そう！～地域日本語教室のこれからについて～」

【講師】 河合大輔（箕面市国際交流協会職員）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター

【実施回数】 1 回（2 時間）

【受講者数】 12 人

【実施日】 令和 3 年 12 月 24 日

（日本語教育の実施）①～⑧ 受講者数：56 人

①日本語読み書き教室「ささゆり」

【目標】来日したばかりの人や長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会（日本語読み書き）の提供を行うとともに生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】 32 回（1 回 2 時間）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】 市 HP や多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】 市民団体「T.E.S にほんご」による指導のもと、入門レベルの日本語学習者を対象とした日本語教室を開催した。カリキュラムについては、市販の教材「Basic Kanji Book」を活用し、レベル別でのグループレッスンを行った。また、ボランティアによる就学前までの保育をもうけ、子育て世代でも安心して日本語を学習できる機会を提供した（多文化子ども保育全 13 回実施）。

【開始した月】 4 月

【講師】 延 160 人（5 人/回）

【関係機関との連携】 市民団体「T.E.S. にほんご」

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

②日本語会話教室「あかね」

【目標】来日したばかりの人や長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会（日本語会話）の提供を行うとともに生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】 31 回（2 時間）

【実施場所】 箕面市立多文化交流センター（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】 市 HP や多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】 市民団体「T.E.S にほんご」による指導のもと、入門レベルの日本語学習者を対象とした日本語教室を開催した。カリキュラムについては、市販の教材「みんなの日本語」を活用し、レベル別でのグループレッスンを行った。また、ボランティアによる就学前までの保育をもうけ、子育て世代でも安心して日本語を学習できる機会を提供した（多文化子ども保育全 12 回実施）。

【開始した月】 4 月

【講師】 延 186 人（6 人/回）

【関係団体との連携】 市民団体「T.E.S. にほんご」

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

③定住者のための日本語読み書き教室「萱野にほんご」

【目標】地域で生活する外国人市民に対して、生活に必要な日本語を習得してもらう。

【実施回数】39回（1回1.5時間）

【実施場所】箕面市立萱野中央人権文化センター（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】市HPや多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】ボランティアが外国人市民を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行った。

【開始した月】4月

【講師】延364人9.3人/回（うち、日本語教師1人）

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

④日本語学習支援「ひまわり」

【目標】地域で生活する外国人市民に対して、生活に必要な日本語を習得できる機会を提供すると同時に、ボランティアとの交流を通じて、地域とのつながりや相互理解を促進する。

【実施回数】31回（1回1.5時間）

【実施場所】箕面市立多文化交流センター（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】市HPや多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】相互理解の促進を図りながら、ボランティアが外国人市民の日本語学習の支援を行った。

【開始した月】4月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

⑤おやこで日本語「さんさんクラブ」

【目標】孤立しやすい子育て中の外国人市民が、「子育て」という共通点を持つボランティアから日本語を学び、地域とのつながりや相互理解を促進する。

【実施回数】4回（1回1.5時間）

【受講者数】延2組

【実施場所】箕面市立多文化交流センター

【受講者募集方法】市HPや多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】「子育て」という共通点を持つボランティアと外国人市民が子どもと一緒に参加し、日本語でコミュニケーションをとりながら、相互理解を図った。

【開始した月】11月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

⑥ひがしにほんご

【目標】地域で生活する外国人市民に生活に必要な日本語を習得してもらう。

【実施回数】38回（1回1.5時間）

【実施場所】箕面市立東生涯学習センター（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】市 HP や多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】ボランティアが外国人市民を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行った。

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

⑦せいなんにほんご

【目標】地域で生活する外国人市民に生活に必要な日本語を習得してもらう。

【実施回数】38 回（1 回 1.5 時間）

【実施場所】箕面市立西南図書館（オンライン実施期間有）

【受講者募集方法】市 HP や多文化交流センターHP、チラシなど

【内容】ボランティアが外国人市民を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行った。

【開始した月】 4 月

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

⑧放課後日本語教室

【目標】箕面市内の小・中学校に在籍する日本語理解が困難な児童・生徒に、日本での生活に必要な日本語を身に付けてもらう。

【実施回数】34 回（1 回 1 ～ 2 時間）

【実施場所】市内小・中学校 5 校

【受講者募集方法】外国にルーツをもつ児童・生徒及び保護者への声かけ

【内容】ボランティアが、それぞれの日本語習得度に基づき日本語指導を行った。

【開始した月】 4 月

【講師】登録者 5 人（うち、日本語教師 1 人）

【関係団体との連携】箕面市教育委員会との連携

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-05 吹田市】

（日本語教育の実施）①・② 受講者数（前・後期）59 人

①日本語 1

【目標】日本で安心して生活するために必要な日本語や日本の習慣を習得する。市民や学習者同士の交流や、相互理解の促進を図る。

【実施回数】74 回（1 回 1.5 時間）

【実施場所】公益財団法人吹田市国際交流協会

【受講者募集方法】市報すいた、(公財)吹田市国際交流協会ホームページ、同協会フェイスブック協会、同協会チラシ、同協会外国人向けメールマガジンほか

【内容】初めて日本語を学ぶ人を対象に、日本語教師によるクラスレッスン。「できる日本語初級」のテキストを使用。半年クラス、同じ内容の授業を前期と後期2回実施。

【開始した月】4月

【講師】2人(うち、日本語教師2人)

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

②日本語2

【目標】日本で安心して生活するために必要な日本語や日本の習慣を習得する。市民や学習者同士の交流や、相互理解の促進を図る。

【実施回数】74回(1回1.5時間)

【実施場所】公益財団法人吹田市国際交流協会

【受講者募集方法】市報すいた、(公財)吹田市国際交流協会ホームページ、同協会フェイスブック、同協会チラシ、同協会外国人向けメールマガジンほか

【内容】簡単な会話ができる人を対象に、日本語教師によるクラスレッスン。「できる日本語初中級」のテキストを使用。半年クラス、同じ内容の授業を前期と後期の2回実施。

【開始した月】4月

【講師】2人(うち、日本語教師2人)

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

(地域日本語教育の実施効果を高める取組)

①サマーコース

【実施場所】オンライン

【実施回数】13回(計21時間)

【内容】日本語1・日本語2の通年クラスが夏季休暇となる8月に、入門～初級レベルの学習者を対象に5日間連続のオンライン講座として実施。通年クラスの復習と会話練習をメインに授業を行った。また8月後半に日本文化について学ぶ3日間のコースも実施した。

実施期間：8/2～8/6 入門レベル5回、初級レベル5回
8/18～8/20

【受講者数】延95名

②オンライン会話クラス

【実施場所】オンライン

【実施回数】6回(1.5時間)

【内容】日本語1・日本語2の通年クラスの内容を踏まえ、会話練習を中心に授業を行った。コロナの影響

を考え、オンラインで実施した。

実施期間：1/12・1/19・1/26 入門レベル3回

2/2・2/9・2/16 初級レベル3回

【受講者数】延 17 名

(地域日本語教育に付随して行われる取組)

・日本語発表会

【実施箇所数】1カ所

【実施回数】1回(2時間)

【具体的な実施内容】日本語教室に通う学習者が年1回、日本語で思いを伝え、地域住民と交流を図る機会として実施している発表会。今年度は発表の様子をYouTubeで生配信した。

【実施日】12月12日

【参加者数】42名(発表者12名、会場観覧者30名〔地域住民等〕)

【15-06 茨木市】

(日本語教育人材に対する研修)

・日本語指導者スキルアップ研修

【講師】(公財)とよなか国際交流協会 山野上隆史・森典子

【実施場所】茨木市立上中条青少年センター

【実施回数】2回

【受講者数】48人

【内容】日本語指導者にとっての心構えや、豊中で実施している事例報告など

(日本語教育の実施)

・日本語教室

【目標】来日したばかりの人や、長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】177回(※マンツーマンの回数1078コマ)(1回1.5時間)

【受講者数】71人(25人、10人、17人、19人)

【実施場所】中央公民館、総持寺いのち愛ゆめセンター、沢良宜いのち愛ゆめセンター、豊川いのち愛ゆめセンター

【受講者募集方法】市の広報誌、HP、チラシ

【内容】受講生と講師のマンツーマン方式を基本とし、受講生のレベルにあった日本語教室を年間通して実施した。指導は、元教師等をはじめ地域住民から募った日本語学習支援者が行った。

【開始した月】5月

【講師】88人

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

(地域日本語教育に付随して行われる取組)

・多文化交流サロン

【目標】地域の人との交流をふまえた場を創設し、学習した日本語を活用する場の提供、文化の理解等をサポートする。

【実施回数】交流会1回、オンライン交流会24回、交流サロン5回

【受講者数】交流会30人、オンライン交流会 延81人、交流サロン延36人

【実施場所】オンライン、総持寺いのち愛ゆめセンター、沢良宜いのち愛ゆめセンター、豊川いのち愛ゆめセンター

【受講者募集方法】チラシや日本語教室で募集

【内容】各教室の受講生や地域住民との交流を目的とした交流会

【開始した月】 10月

【講師】なし(スタッフ 延171人)

【15-07 交野市】

(地域日本語教育の実施)

①学びの場

【目標】来日したばかりの人や、留学生又は長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対して日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに日常生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】25回(1回2時間)

【受講者数】12人

【実施場所】交野市立青年の家

【受講者募集方法】市のHPで募集する

【内容】「みんなの日本語」を教材として、学習者の日本語能力に応じて、学習支援者がマンツーマンによる授業を行った。

国籍や世代の差を超えた学習者の交流のため、各国の料理を持ち寄ったり、習字をしたり、といった異文化交流等も行い、学習だけではなく、みんなが楽しんでお互い学べる場とした。

【開始した月】4月(5月と6月の一部についてはコロナウイルス感染拡大防止の為、休講)

【講師】3～5人

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

②日本語プラザ

【目標】来日したばかりの人や、留学生に対して日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに

日常生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】 52 回（1 回 1.5 時間）

【登録受講者数】 17 人

【実施場所】 交野会館

【受講者募集方法】 HP・ポスター等で募集する

【内容】 入門レベルの日本語学習者を対象とし、個々のレベルに合わせてマンツーマンで地域の日本語学習支援者により指導を行った。

【開始した月】 4 月（5・6 月の一部・9 月についてはコロナウイルス感染拡大防止の為休講）

【講師】 3～5 人

【関係機関との連携】 標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-08 東大阪市】

（日本語教育の実施）

①よみかき教室

【目標】 読み書きに不自由する人々に対して、学習機会の拡充を図るとともに、日常生活に不自由のない程度の読み書きができることを支援する。

【実施回数】 62 回（1 回 2 時間）

【受講者数】 18 人（3 か所：あさ 4 人、ひる 6 人、よる 8 人）

【実施場所】（あさ）東大阪市若江岩田駅前市民プラザ、（ひる）東大阪市立東体育館、
（よる）東大阪市立菱屋西公民分館永和分室

【受講者募集方法】 市政だより及び市ウェブサイトで募集

【内容】 新聞に掲載されているエッセーや日常生活でよく使われることわざや慣用語句、熟語などの教材を用意した。人権感覚に優れ教職経験等がある講師 1 人につき 1～2 人の班に分かれて、ひらがなから漢字まで、学習生の読み書きの程度にあった支援を行った。

【開始した月】 6 月

（5 月開始予定だったが、6 月 24 日までは新型コロナウイルス感染防止対策のため中止）

【講師】 14 人

【関係機関との連携】 国際識字年推進東大阪連絡会

②日本語教室

【目標】 外国人住民に日本語を学習する場を提供し、日本語によるコミュニケーションを通じて支援していくとともに、国際交流に貢献する。

【実施回数】 284 回（1 回 1.5 時間）

【受講者数】 登録者数 218 人（8 か所）

【実施場所】 東大阪市内の施設

【受講者募集方法】 市政だより、市ウェブサイト、特定非営利活動法人東大阪日本語教室のウェブサイト

【内容】・主として、ボランティアと学習者のペア方式により日本語学習を行う。

- ・来日したばかりの学習者については、講義形式により初期の日本語学習を行うなど、学習者の適性に応じた授業を展開する。
- ・学習者が日本での生活に支障をきたさないように、実生活に適した日本語学習を行う場を提供する。

【開始した月】 4月

【講師】ボランティア 214人

【関係機関との連携】特定非営利活動法人東大阪日本語教室

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

(日本語教育に関する広報活動)

- ・チラシの作成

チラシを作成し、「生活者としての外国人」に日本語教室の取組を広報した

【15-09 柏原市】

(日本語教育の実施)

- ・かしわら日本語教室

【目標】柏原市に居住もしくは通勤・通学をされている方で、日本語を習得し日常生活や仕事における日本人とのコミュニケーションを円滑に図れるようになりたいと希望するすべての外国人に、初歩的～中級程度の日本語能力獲得を目指した講座を開講してその学習を支援する。

【実施回数】30回(1回3時間)

【受講者数】22人

【実施場所】柏原市立国分図書館

【受講者募集方法】市WEBサイトでの受講案内

【内容】大学教授によるコーディネイトの元、日本語講師の紹介をして頂き、初級・中級レベルの日本語学習者を対象とした日本語教室を開催した。講師及びレベルごとに4つのクラスを設け、受講者のレベル別の授業を行った。実施は毎週土曜日、午前中。受講希望者は事前に教室へ出向いて申込書の提出とレベル分けの簡易なテストを受けて頂き、次期受講開始期日(おおよそ四半期ごと)から受講を始めた。

【開始した月】4月

【講師】2人(うち、日本語教師2人)

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-10 松原市】

(日本語教育人材に対する研修)

- ・日本語学習パートナー入門講座

【講師】（第1回）常磐会学園大学 教授 大森彰
（第2回）日本語学習パートナーと学習者
（第3・4回）大阪YWCA日本語教師会 講師 辻村文子

【実施場所】松原公民館

【実施回数】4回

【受講者数】31人

【内容】（第1回）地域の日本語教室とパートナーの役割
（第2回）国際広場“もめん”について—日本語学習パートナーと学習者の話—
（第3回）外国語が母語の人と日本語でおしゃべりする方法
（第4回）日本語で日本語を教える方法

（日本語教育の実施）

・国際広場“もめん”

【目標】学習者と学習支援ボランティア（日本語学習パートナー）が日本語学習を通じてお互いに学びあう交流の場、身近な生活の場（公民館）にあって気軽に通いやすく、異なる文化的背景を持つ人が同じ市民として子育てや買い物・病院などの生活情報を交換できる場として、また、日本語が不自由なために地域や家庭で孤立しがちな人の「居場所」として機能する場を設けた。

【実施回数】49回（1回1.5時間・1回2時間）

【受講者数】31人

【実施場所】市立松原公民館、市立新町公民館

【受講者募集方法】市の広報紙やHP、チラシ

【内容】学習者それぞれの希望に沿った日本語学習を行った。また日本語学習支援者と異文化交流をする時間も設けた。

【開始した月】4月

【講師】29人（内、日本語教師人数は不明）

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-11 和泉市】

（日本語教育人材に対する研修）

①識字・日本語教室堺・泉北ブロック合同研修

【講師】公益財団法人とよなか国際交流協会事務局長 山野上隆史

【実施場所】オンライン・和泉市役所

【実施回数】1回

【受講者数】15人

【内容】「識字・日本語教室のこれから～豊中市の事例に学ぶ～」

日本語を学ぶ外国人市民を取り巻く環境や社会情勢や日本語指導方法について学び、より効果的

に日本語学習支援を行えるよう必要な知識を身に付け、多文化共生についての理解を深めた。

②日本語ボランティア養成講座

【講師】一般財団法人 海外産業人材育成協会 澤田幸子、藤井和代、柳瀬薫

【実施場所】和泉シティプラザ

【実施回数】全 10 回

【受講者数】13 人

【内容】

回	日	講師	タイトル
1	9/7	澤田	地域日本語教室はどんなところ？ ～多文化共生社会と地域日本語教室の役割～
2	9/14	藤井	日本語ボランティアって何？
3	9/21	藤井	外国人とのコミュニケーション ～『やさしい日本語』の達人になろう～
4	9/28	柳瀬	対話型活動の勧め～おしゃべりで学習者の話す力を伸ばそう～
5	10/5	澤田	ほとんど日本語がわからない入門期の学習者との活動 ～何から始める？どうやって進める？～
6	10/12	藤井	日本語再発見～外国語として日本語を見てみると～
7	10/19	藤井	知っているのと役に立つ日本語文法基礎知識
8	10/26	柳瀬	初級日本語テキストを見てみよう
9	11/2	澤田	こんなときどうする？日本語ボランティアケーススタディ
10	11/9	澤田	さあ始めよう！日本語ボランティア ～講座での気づき、学びを実践につなげるために～

（日本語教育の実施） ①～③ 受講者総数（実人数）：73 人

①日本語サロン

【目標】外国人受講者のニーズに応じた日本語の習得を、日本語ボランティアがサポートすることにより、受講者及びボランティアが双方の文化に触れて相互理解を深め、多文化共生施策及び国際交流施策の推進に資することを目的とする。

【実施回数】48 回（1 回 1.5 時間）

【実施場所】フューラル和泉、和泉シティプラザ

【受講者募集方法】市の広報紙やHPにより募集

【内容】市が主催する日本語ボランティア養成講座（全 10 回）を修了した日本語ボランティアが、地域に在住する外国人（市内在住に限定しない）を対象に、受講者のニーズに応じた日本語指導をマンツーマンで行った

【開始した月】4 月

【講師】31 人

【関係機関との連携】和泉市国際交流協会

(和泉市国際交流協会へ登録する日本語ボランティアが活動する)

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

②和泉読み書き教室

【目標】文字の読み書きが困難な方を対象に、学習機会を提供することを通じて、施策の推進を図ることを目的とする。

【実施回数】29回（1回2時間）

【実施場所】和泉市コミュニティセンター

【受講者募集方法】市の広報紙で募集

【内容】ボランティア講師が、市内に在住又は在勤する15歳以上で文字の読み書きが困難な方を対象に、受講者のニーズに応じた日本語の読み書き指導をマンツーマンで行った。

【開始した月】4月

【講師】10人

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

③いずみ識字学級

【目標】文字の読み書きが困難な方を対象に、学習機会を提供することを通じて、施策の推進を図ることを目的とする。

【実施回数】91回（1回2時間）

【実施場所】和泉市立北部総合福祉会館、旭第二団地集会所、和泉市立人権文化センター

【受講者募集方法】市の広報誌で募集

【内容】教室の運営をいずみ識字ボランティアの会に委託し、ボランティア講師が、市内に在住又は在勤する15歳以上で文字の読み書きが困難な方を対象に、受講者のニーズに応じた日本語の読み書き指導を行った。

【開始した月】4月

【講師】13人

【関係機関との連携】いずみ識字ボランティアの会

(出欠状況や学習内容の把握、研修会や交流会の企画・運営等の教室運営に係る業務の一部を委託し、協働して教室運営を行った)

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

(地域日本語教育に付随して行われる取組)

・日本語サロン交流会

【実施箇所数】4回

【実施時間数】計6時間

【内容】日本の伝統文化に触れられる四季折々のイベント開催を通じて、日本語学習支援者及び外国人受講者が互いの文化について理解を深め、日本語を楽しく学びながら交流を行った。

【15-12・13 貝塚市(かいづか国際交流協会)】

(日本語教育人材に対する研修)

①日本語ボランティア養成講座

【講師】日本語学習指導者

【実施場所】貝塚市シルバー人材センター

【実施回数】15回(全16回、台風のため1回休講)

【受講者数】4人

【内容】かいづか国際交流協会の日本語サロンで支援者になるために、やさしい日本語で日本語を教えるコツを学ぶ講座。動詞や形容詞の他に、表現や発音等幅広く学び、日本語が不自由なために生活に困難を抱えている外国人に日本語を教え、問題なく生活を送れるように手助けをする。

②スキルアップ講座「日本語ボランティアのためのイラスト講座」

【目標】日本語サロン支援者を中心とし、地域で生活する外国人住民への日本語指導方法の向上を図り、今後の支援活動へ活かしていく。

【講師】大阪YWCA日本語教師会会員 児島弥生

【実施場所】貝塚市シルバー人材センター

【実施回数】1回(2時間)

【受講者数】20人

【受講者募集方法】広報誌、会報誌、ボランティアグループの呼びかけ、チラシ配布

【内容】誰でも簡単に描けるイラストを学び、全く日本語が分からない初級の外国人へ指導する時のノウハウを学んだ。

(日本語教育の実施)

・日本語サロン

【目標】来日したばかりの人や、長年日本に暮らしている日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに、生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

【実施回数】761回(1回1時間)※5月～6月中旬は緊急事態宣言下のため休止

【受講者数】71人

【実施場所】かいづか国際交流協会事務所

【受講者募集方法】会報誌、HP、講師の呼びかけ

【内容】地域住民から募ったボランティアが日本語学習指導者となり、日本語学習者(在住外国人)のレベルに応じたカリキュラムを策定し、それぞれの課題に対して日本語指導を行った。指導を行うのは、「日本語ボランティア養成講座(全16回)」を修了した者で、指導者に対してはスキルアップ

講座を実施し、学習者にとってより分かりやすい授業を提供できるようになった。

【開始した月】 4 月

【講師】 20 人

【関係機関との連携】 無

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

【15-14 阪南市】

（日本語教育人材に対する研修）

・ 阪南市日本語指導者養成講座

【講師】 阪南市日本語クラブ・外部講師

【実施場所】 阪南市立東鳥取公民館

【実施回数】 15 回

【受講者数】 15 人

【内容】 日本語教育のための日本語教室指導者としての育成を行った。全 15 回の講座を実施し、オリエンテーション、基礎講座・授業演習・授業体験を行った。修了者は阪南市日本語クラブに加入し、今後、日本語指導の実践を行う予定。

（日本語教育の実施）

・ 阪南市日本語教室

【目標】 来日したばかりの人や長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対し、マンツーマン方式で日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに言葉の違いから生じる様々な問題を解決し、生活に困らない程度や就労に役立つ日本語能力の獲得を支援した。また、指導を通じて国際理解を深め、国際交流を図った。

【実施回数】 347 回 ※マンツーマン方式（1.5 時間）

【受講者数】 35 人

【実施場所】 阪南市立東鳥取公民館

【受講者募集方法】 市広報誌や市HPで募集を行った。

【内容】 テキスト「みんなの日本語」等を活用し、受講者の個人のレベルに合わせて、日本語指導者養成講座を終了したもので構成される阪南市日本語クラブ員が週 1 回を基本にマンツーマンで指導する方式を取る日本語教室を開催した。

【開始した月】 4 月

【講師】 40 人

標準的なカリキュラム案等の活用の有無：無

（取組 1 6）取組 1 5 以外の日本語教育を行う団体を支援して実施する日本語教育

3. 効果

(1) 令和3年度の実施目標に対する評価

①令和3年度の実施目標（年度当初に設定した目標を再掲）

平成27年度に「大阪識字・日本語協議会」において整理した、識字・日本語学習活動促進に係る課題である「学習機会の不足」、「学習活動への支援」、「教室運営への支援」、「人材の育成」、「識字・日本語教室に対する情報の共有や周知・広報」、「連携・協力体制の構築」等の課題解決をめざし、府、市町村、民間のネットワークの拡大・強化により、大阪府内の識字・日本語学習活動の充実を図る。

②達成状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言発出に伴い、多くの教室が休講したことや、外出を控える学習者や学習支援者が増えたことにより、市町村が実施する地域日本語教育への参加人数は、目標を下回った。

しかし、本事業を活用し、オンライン学習環境の整備を進めたことにより、教室を継続的に開講できた事例だけでなく、オンラインで会話練習を行う「オンライン会話クラス」の新規開講もあり、参画市の中で工夫を凝らした新たな取組も実施されるようになった。

「府、市町村、民間のネットワークの拡大・強化」については、総括コーディネーターを中心として、府内の識字・日本語学習行政担当者が出席する「市町村識字・日本語学習担当者連絡会議」を2回実施し、府と市町村との情報共有及び連携を進めることができた。

(2) 個別の取組に対する評価

①定量評価

- ・総合調整会議：前年度（2）回 当年度（2）回
- ・総括コーディネーター配置数：前年度（2）人 当年度（3）人
- ・地域日本語教育コーディネーター配置数：前年度（4）人 当年度（13）人
- ・実施した日本語教育人材に対する研修：（54）回（8箇所） 当年度（78）回（17箇所＋オンライン）
- ・実施した日本語教室：前年度（3252）回（40箇所） 当年度（2817）回（55箇所＋オンライン）

①－2 実施計画書において設定した目標に対する定量評価

- ・市町村における日本語教育の実施 参加人数：設定目標（1438）人 当年度（935）人

②定性評価

(i) 連携機関の広がりについて

- ・本事業を活用することにより、今年度は12市の取組に対して補助を行うことができた。

【市町村間の連携について】

- ・「市町村識字・日本語学習担当者会議」内で本事業の説明を行うとともに、同会議内で府内市町村を8ブロックに分けたブロック別会議も実施し、ブロック交流会（ブロック内の識字・日本語教室が交流する場）の開催に向けて調整を行うなど、府と市町村の識字・日本語学習行政担当者が

連携・協力して、市町村域を越えた取組を進めた。コロナ禍で実施を見送ったブロックもある中、3ブロックで、オンライン開催等工夫をして交流することができた。また、豊能ブロック（箕面市・豊中市・池田市・豊能町・能勢町）の交流会では、本事業参画市である箕面市・豊中市・池田市が教室や取組の紹介を行うなど、参画市の取組を他の市町と共有することができた。

- ・箕面市や茨木市、堺・泉北ブロック（堺市・和泉市・高石市・泉大津市・忠岡町）では、参画市の1つである豊中市が連携協力している「とよなか国際交流協会」理事 山野上隆史さんを招き、「日本語教育人材に対する研修」を実施した。その結果、豊中市で行われている取組や好事例を共有することができた。

今まで、市町村が連携（情報交換や情報共有等）する機会は限定的であったが、以上のように、本事業を通じて、市町村が様々な形で「他市町村の取組や好事例を知る（学ぶ）」機会が増えることとなり、市町村間の連携を進める下地が構築されつつある。

【府と市町村の連携について】

- ・文化庁委託事業を活用して大阪府教育庁が作成した日本語学習教材「きいて まねして はなして」や「話して 書いて 伝え合う 私のこと・あなたのこと」について、『①市町村の教室での活用』、『②府が市町村への聞き取りで本教材を活用した学習者・学習支援者からのフィードバックを収集』、『③参画市が本教材の活用方法について研修を実施』、『④府が市町村へ教材の情報を発信』することで府と市町村が本教材を通じ、情報交換を行う機会を数多く設けることができた。

（ii）新たな連携機関と連携した内容

大阪府識字・日本語学習コーディネーターと総括コーディネーターによる「大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議」に（公財）大阪府国際交流財団が新たに参加し、日本語教室における生活相談の実態について意見交換した。

（iii）どのような体制を構築できたか

本事業を活用し、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、行政担当者などの間で情報の提供、共有など連携が強化された。その結果、府と市だけでなく、市町村間も、好事例や取組内容の共有など、効果的な連携の構築に向け、地域日本語教育の総合的な体制づくりが進んでいる。また、（公財）大阪府国際交流財団との意見交換を始めたことで、市町村に対し、さらに多くの情報を提供できる体制を構築することができた。

（iv）事業実施に当たっての周辺自治体や域内の関係者等へ周知・広報及び事業成果の地域への発信について

「市町村識字・日本語学習担当者連絡会議」「大阪府識字・日本語協議会」「大阪府識字・日本語コーディネーター会議」で本事業の成果を共有した。また、ブロック会議でも各市町村で成果について情報共有している。

4. 課題と今後の展望

(1) 課題と困難な状況への対応方法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、支援者養成講座の中止や日本語教室の休講など、実施計画の変更を余儀なくされた市がみられた。一方で、対面学習が休止している期間でも、本事業を活用し、オンライン形式に切り替えて講座や教室を継続した市もあった。また、日本語教育に付随する取組である日本語教室発表会を対面と、YouTube による生配信のハイブリッド方式で実施することで、参加者を増やすことができた事例もあった。

(2) 今後の展望

総括コーディネーターと地域日本語教育コーディネーターの連携をさらに深め、好事例等の共有・発信を強化することで、補助事業を活用している市はもとより、未活用の市町村においても識字・日本語学習活動を支援し、府内全域における地域日本語教育の総合的な体制づくりの強化を図る。

【参考写真一覧】

取組番号	写真名
15-02	オンライン日本語教室
	
15-04	日本語教室発表会
	

15-09	国際広場 “もめん”（災害時対応勉強会）
	
15-10	日本語ボランティア養成講座
	

【参考資料一覧】

取組番号	資料名	NEWS 掲載
15-03	15-02 にほんごサロン学習者へのアンケート（池田市）	
15-04	15-03 せいなんにほんご チラシ（箕面市）	○
15-05	15-04 にほんごサマーコース チラシ（吹田市）	○
15-05	15-04 日本語教室発表会 チラシ（吹田市）	○
15-08	15-07 東大阪日本語教室 チラシ（東大阪市）	○
15-11	15-10 日本語ボランティア養成講座 チラシ（和泉市）	○
15-11	15-10 日本語サロン チラシ（和泉市）	○